

県政報告

平成29年度までに解消へ

# 神奈川県議会議員 民主党・かながわクラブ きしべ 都

河川区域内に河川法の許可なく係留されているプレジャーボートなどの不法係留船は、護岸の損傷、洪水の流下阻害など、河川管理上の支障があり、昨今のゲリラ豪雨などによる被害が懸念されています。

大岡川水系では大岡川、大岡川分水路、中村川、堀川の撤去はほぼ完了しました。しかし、堀割川は今年

9月中旬の台風18号で河川の増水・氾濫が相次ぎま  
3月の調査で、未だに16隻の不法係留が確認され

た。しかし、堀割川は今年去費用などの財源措置をしていくとしています

A professional headshot of a woman with shoulder-length dark hair, styled with bangs. She is wearing a light-colored, possibly cream or beige, blazer over a white collared shirt. The background is a solid pink color.

みなさまからのご意見、  
ご要望をお待ちしています

## きしへ都政務調査事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

で、一步前進が期待されます。堀割川は水と緑の拠点として周辺整備が進められています。安全上や街づくりの景観上から不法係留船の撤去が望まれてきましたが、県の前向きな取り組みで以降、強制撤去が続けられていますが、全長約2・7kmしかない堀割川に16隻が係留されています。

私は9月20日、県議会的一般質問でこの問題を取り上げ、早期の対策を求めました。黒岩知事からは、平成29年度までに不法係留の解消を目指す旨の答弁を得ました。今後、県は国に撤去費用などの財源措置を要望していくとしています。